

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「日常の「あいさつ」がもつ力」

「みんな笑顔！あいさつで誇れる学校にしよう」これは、鏡野中学校生徒会あいさつ運動のスローガンです。この横断幕は、鏡野中学校三階職員室前の渡り廊下に掲げられています。玄関から校舎内に入ると、渡り廊下が真正面にありますので、すぐに見つけることができます。長い間、大切にされているスローガンです。来校の際は、ぜひご覧下さい。

本校では、「先言後礼」を柱とし、日常的に交わされているあいさつですが、その取組の様子をいくつかご紹介しま

す。生徒は、「朝のあいさつ運動」と「帰りのあいさつ運動」に取組んでいます。朝は、生徒会執行部が中心となり、取組んでいます。毎朝、生徒会長が「一日の始まりを気持ちのよいあいさつでスタートしましょう」と全校に放送でよびかけをしています。帰りは、部長会が中心となり、当番を決めて取組んでいます。部活動終了前に、部活動で担当になった生徒が「一日の終わりを気持ちのよいあいさつで締めくくります。また自転車通学の人はヘルメットをかぶり、気を付けて下校しましょう」と全校に放送を呼びかけています。朝の会や帰りの会、授業の始めと終わりでもしっかりと「お願ひします」「ありがとうございます」などのあいさつができています。休み時間などでは、廊下や階段ですれ違う時、会釈や黙礼ができる生徒さんにも出会います。職員も、毎朝の打合せの前に、①司会

者の呼びかけ「これから打合せを始めます」②全教職員が起立③「おはようございます」④一礼⑤着席といったように①から⑤の流れであいさつを行っています。

少し話は変わりますが、講演会でのエピソードをご紹介します。随分前の話ですが、子育てをテーマとした講演会に参加した時のことです。その講師の先生から「家庭でできる性教育の基本は、毎朝一人ひとりの子どもにちゃんと目を向けて、その子の名前を呼んであいさつすること」と助言をいただいたことがあります。基本にあるのは一人ひとりの存在を大切にするという意識であり、大人からの日々の丁寧なあいさつは、子どもの中に自分が大切にされている感覚を持たせ、自分と相手を大切にしている気持ちを持っていくというのです。私は、その助言から、自分の子育てや生徒との関わりを振り返り、当たり前のように行っていた日々のあいさつのあり方について考え、意識するようになりました。

あいさつを通した一回一回の働きかけは小さくささやかなものかもしれませんが、そんで、全てを解決してくれるものでもないのでしよう。しかし、あいさつは、「子どもたちが学校・家庭・地域は安全・安心で温かい場所であると実感できる力」をもっていると考えています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鏡野中学校 小林 里江

のびのびひろば

いっぱいあそんでおおきなあ〜れ！

新年度、わくわくドキドキがいっぱいの子どもたち。香南保育園の豊かな自然の中で、ダンゴムシやバッタを見つけたり、タンポポやシロツメクサなどの草花を摘み、砂場には可愛いごちそうが並んでいます。エンドウ豆もたくさん実り、ひとつひとつ丁寧に摘み取り、嬉しそうに給食先生に持って行く姿も見られます。29名でスタートした令和5年度。今年も自然豊かな環境の中で、異年齢の関わりを大切にしながら、笑顔いっぱい過ごしていきたいと思ひます。

おそとボカボカ
きもちいいな♪

チューリップを歌いましょう♪

上手に
飾れた〜♪

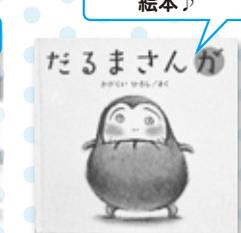
ふう〜！

みんな大好き
「だるまさんが」の
絵本♪

だ・る・ま・さ・ん・が・びろ〜ん♪

4・5歳児で考え、協力して
準備したなかよし会♪
みんな喜んでくれて大成功!!
これからみんなで
なかよく遊ぼうね♡

(香南保育園)



だんごむしさん
かわいい♪